

株式会社FHアライアンス

SDGsの取組

取組・活動内容	FHアライアンスは「省エネルギーで数世代に渡って住み続けられるより良い住宅」を、「住まい手にとってより健康的で快適な空気環境」を、「加盟工務店の発展と社員の働きやすさ」を、これらを地域の優良工務店同士で連携しながら実現するために立ち上げられました。 全館空調「マッハシステム」の普及を通じて、SDGsの実現に積極的に取り組んでいます。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
経済	3, 7, 9, 11	FHアライアンスが普及を目指している「マッハシステム」は家庭用エアコン1台で家中の冷暖房ができ、同時に換気、空気浄化、調湿ができる全館空調システムです。室内の温湿度を常に快適にコントロールすることで急激な気温の変化によって起きるヒートショック等を低減し、健康寿命の延伸に寄与します。通常温湿度の変化が激しい小屋裏や床下も室内同様の空気環境のため、建物や設備の長寿命化に貢献します。 また、新興感染症の蔓延により換気的重要性が見直されています。微粒子を除去する大風量空気清浄ユニットを搭載し家の中をクリーンルームのような環境を実現できる「スーパークリーンマッハシステム」を開発しています。	次世代全館空調「マッハシステム」導入住宅の施工棟数 全国2000棟/年（毎年継続） 「スーパークリーンマッハシステム」導入住宅の施工棟数 全国100棟/年（2027年までに2000棟目標）
社会	8, 9	快適な住環境の創造はもちろん、働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。コロナ禍以前よりテレワーク環境を整備し様々な働き方に対応していきます。 省エネルギーで快適なマッハシステムの考え方、設計手法、施工方法をマニュアル化し全国にある会員工務店に伝えていきます。全国の工務店の事例を共有、協力する事でより良いシステムの開発を続けていきます。	2025年までにWEB会議システムの導入 2025年までに加盟工務店全店にマニュアルの共有化を図る
環境	3, 7	温湿度、使用電力量をホームページ上でリアルタイムに確認できる「MAI3」を開発しています。高性能な省エネ住宅エネルギーの見える化で省エネ意識を推進します。「マッハシステム」は24時間全館空調にも関わらず少ないランニングコストで運転することができます。	エネルギーの見える化 「MAI3」の普及 50件/年（毎年継続）